

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	現代の国語	2	必修	6	2

1. 学習のねらい

現代の文章を、論理的に読み取り、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通して他者や再会に関わろうとする態度を養う。

2. 教科書名

新編 現代の国語 (東京書籍)

3. 副教材名

新編現代の国語 学習課題ノート (東京書籍)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	ルリボシカミキリの青 教科書P12～	5月26日
5月	学習課題ノート P7～P10	
6月	未来を作る想像力 教科書P68～／学習課題ノート P11～P14	6月30日
7月	スキマが育む都市の緑と生命のつながり／学習課題 P31～P25	7月28日
8月	鍋洗いの日々 教科書P94～	10月6日
9月	学習課題ノート P39～P41	
10月	りんごのほっぺ 教科書P150～	11月17日
11月	学習課題ノート P60～P62	
12月	真の自立とは 教科書P179～／学習課題ノート P69～P72	12月22日
1月	調整予備期間	
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	言語文化	2	必修	6	2

1. 学習のねらい

言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質、能力を育成することを目指す。

2.教科書名

新編 言語文化（東京書籍）

3.副教材名

1. 新しい古典文法 四訂新版（桐原書店）
2. 新編 言語文化 学習課題ノート（東京書籍）

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	〈古文入門〉 古文に親しむ／児のそら寝／絵仏師良秀	5月26日
5月		
6月	〈漢文入門〉訓読の基本／故事成語「守株」「借虎威」	6月30日
7月	〈随筆〉 徒然草「今日はそのことをなさんと思へど」 枕草子「うつくしきもの」	8月4日
8月		
9月	〈漢詩〉 絶句と律詩（七首）	10月6日
10月		
11月	〈物語〉伊勢物語「芥川」	11月17日
12月	〈論語〉論語（八章）	1月5日
1月		
2～3月	調整予備期間「現代文編」の教材は練習問題として扱う。	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	論理国語	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

近代以降の様々な文章を、論理的、批判的に読む能力を伸ばすとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めることを目指す。また、進んで表現し、伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養い、読書に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。

2. 教科書名

論理国語（数研出版）

3. 副教材名

論理国語準拠ワーク（数研出版）

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	手の変幻① 教科書P18～ / 準拠ワーク P12～P14	5月10日
5月	手の変幻② 教科書P18～ / 準拠ワーク P14～P15	5月31日
6月	胆力について 教科書P26～ / 準拠ワーク P16～P19	6月21日
6・7月	作文〈高校生活での体験を通して、感じたこと、学んだことについて述べる。〉	7月19日
7・8月	未来世代への責任① 教科書P70～/準拠ワーク P36～P38	8月23日
8・9月	未来世代への責任② 教科書P70～/準拠ワーク P38～P39	9月13日
9月	消費されるスポーツ① 教科書P128～/準拠ワーク P56～P58	10月4日
10月	消費されるスポーツ② 教科書P128～/準拠ワーク P58～P59	10月25日
11月	「いき」の美学① 教科書P200～/準拠ワーク P76～P77	10月25日
11・12月	「いき」の美学② 教科書P200～/準拠ワーク P77～P79	10月25日
12月	「である」ことと「する」こと① 教P228～/準拠 P88～P89	11月15日
1月	「である」ことと「する」こと② 教P228～/準拠 P89～P90	12月6日
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	文学国語	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

近代以降の文芸作品を読むことによって、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2. 教科書名

数研出版 文学国語

3. 副教材名

「文学国語 準拠ノート」 数研出版

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	鍋セット(角田光代) / 準拠ノート P11～P14	4月26日
5月	無用の人(原田マハ) / 準拠ノート P15～P18	5月17日
6月	ナイン(井上ひさし) / 準拠ノート P19～P23	6月7日
6月	三月の風(阿部昭) / 準拠ノート P24～P27	6月28日
7月	山月記(中島敦) / 準拠ノート P6～P10	7月19日
8月	山椒魚(井伏鱒二) / 準拠ノート P28～P33	8月9日
8月	水仙(太宰治) / 準拠ノート P34～P39	8月23日
9月	物語のおわり(湊かなえ) / 準拠ノート P52～P55	9月13日
9月	ひよこの眼(山田詠美) / 準拠ノート P68～P72	9月27日
10月	クリーム(村上春樹) / 準拠ノート P73～P76	10月18日
11月	赤い繭(安部公房) / 準拠ノート P77～P79	11月8日
12月	件(内田百閒) / 準拠ノート P88～P91	12月12日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	国語表現	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語力を向上させ、それを社会生活の充実に活かす態度を育てる。

2. 教科書名

国語表現

大修館書店

3. 副教材名

国語表現 基礎練習ノート

大修館書店

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	言葉と表記 / 基本演習ノート P6～P15	4月28日
5月	整った文を書く(1) / 基本演習ノート P18～P21	5月12日
5月	整った文を書く(2) / 基本演習ノート P22～P25	5月26日
6月	相手に応じた言葉遣い(1) / 基本演習ノート P26～P29	6月4日
6月	相手に応じた言葉遣い(2) / 基本演習ノート P30～P33	6月23日
7月	相手に応じた言葉遣い(3) / 基本演習ノート P34～P39	7月28日
8月	わかりやすい文を書く / 基本演習ノート P40～P45	8月25日
9月	文のつなぎ方 / 基本演習ノート P48～P51	9月15日
9月	絵や写真を見て書く / 基本演習ノート P40～P45	9月29日
10月	自分を見つめて・自己PRと面接のまとめ/演習 P86～P103	10月13日
10月	通信文を書き分ける・電話を使いこなす/演習 P108～P111	11月3日
11・12月	小論文入門 / 基本演習ノート P80～P83	12月22日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	国語演習基礎	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

様々な文章を読み、論の展開を確認し、演習問題に取り組むことで、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2.教科書名

なし

3.副教材名

現代を読む はじめての評論文20選 改訂版

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	・言葉のちぐはぐ(鷺田清一) p2～ p5 第1回	4月30日
5月	・人間は独創的でありたいか(小熊英二) p22～p27 第2回	5月31日
6月	・日本人はなぜ靴をぬぐのか(芦原義信) p30～p33 第3回	6月30日
7月	・「貨幣」の本質、「愛」の本質(岩井克人) p80～p85 第4回	7月31日
8月	・技術の正体(木本元) p46～p51 第5回	8月31日
9月	・だれが自分を創るのか(養老孟司) p72～p79 第6回	9月30日
10月	・自分を差し出す(岸政彦) p88～p95 第7回	10月31日
11月	・読者の誕生と作者の死 (内田樹) p112～p117 第8回	11月30日
12月	・「聖なるもの」の行方 (山崎正和) p128～p132 第9回	12月15日
1～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
国語	国語演習応用	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

様々な文章を読み、論の展開を確認し、演習問題に取り組むことで、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2.教科書名

なし

3.副教材名

現代を読む はじめての評論文20選 改訂版

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	・言葉のちぐはぐ(鷺田清一) p2～ p5 第1回	4月30日
5月	・人間は独創的でありたいか(小熊英二) p22～p27 第2回	5月31日
6月	・日本人はなぜ靴をぬぐのか(芦原義信) p30～p33 第3回	6月30日
7月	・「貨幣」の本質、「愛」の本質(岩井克人) p80～p85 第4回	7月31日
8月	・技術の正体(木本元) p46～p51 第5回	8月31日
9月	・だれが自分を創るのか(養老孟司) p72～p79 第6回	9月30日
10月	・自分を差し出す(岸政彦) p88～p95 第7回	10月31日
11月	・読者の誕生と作者の死 (内田樹) p112～p117 第8回	11月30日
12月	・「聖なるもの」の行方 (山崎正和) p128～p132 第9回	12月15日
1～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	地理総合	2	必修	6	2

1. 学習のねらい

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

2.教科書名**3.副教材名**

『地理総合』 東京書籍
『新詳高等地図』 帝国書院

『地理総合ワークノート』 東京書籍

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1編 第1章 私たちが暮らす世界	5月30日
	第2章 地図や地理情報システムの役割	
5月	第3章 資料から読み取る現代世界	
6月	第2編 第1章 1節 生活文化の多様性と国際理解 2節 生活文化と自然環境①地形	6月30日
7月	3節 生活文化と自然環境②気候	8月30日
8月	4節 生活文化と産業	
9月	第2章 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	
10月	3節 人口問題 4節 食料問題	10月30日
11月	5節 居住・都市問題 6節 民族問題	11月30日
12月	7節 持続可能な社会の実現をめざして	
1月	第3編 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	1月15日
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	地理探究	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

2. 教科書名

3. 副教材名

『地理探究』 東京書籍
『新詳高等地図』 帝国書院

『要点マスター 地理探究』 東京書籍

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1編	4月30日
5月	第1章 自然環境	5月15日 5月30日
6月	第2章 産業と資源	6月15日 6月30日
7月	第3章 交通・通信、貿易、観光	7月15日
8月	第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教	7月30日 8月15日
9月		
10月	既習範囲の記述レポート課題	10月15日 10月30日
11月	既習範囲の記述レポート課題	11月15日
12月		
1月	調整予備期間	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	歴史総合	2	必修	6	2

1.学習の狙い

- ①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
- ②近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、公民としての自覚と他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

2.教科書名

「新選歴史総合」 東京書籍

3.副教材名

「新選歴史総合ワークノート」 東京書籍

4.年間学習計画

【レポート】

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料	5月31日
5月	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結びつく世界と日本の開国	
6月	3節 国民国家と明治維新	6月30日
7月	4節 近代化と現代的諸問題	7月31日
8月	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	
9月	2節 第一次世界大戦と大衆社会	10月31日
10月	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
11月	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	11月30日
12月	3節 世界秩序の変容と日本	1月11日
1月	4節 現代的諸課題の形成と展望	
2～3月	調整予備期間	

5.評価方法

- ・知識・技能…前・後期の各単位認定試験において、それぞれ50点分とし、平均して評価する。
- ・思考・判断・表現…前・後期の各単位認定試験において、それぞれ50点分とし、平均して評価する。
- ・主体的に取り組む態度…レポートの内容等から25点分を評価する。
スクーリングの授業態度から25点分を評価する。

※上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	日本史探究	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる公民としての自覚と資質の育成を目指す。

2. 教科書名

「日本史探究」（東京書籍）

3. 副教材名

「要点マスター日本史探究 整理と演習」（東京書籍）

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1編 先史古代の日本と東アジア	
5月	第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開	4月30日 5月31日
6月	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開	6月30日
7月	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成	7月31日
8月	第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開	8月29日
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望	9月30日
10月	第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 2節 国民国家と資本主義の成立	10月17日 10月31日
11月	3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本	11月14日
12月	5節 占領と政策 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題	12月5日 12月22日
1月	第4章 現代日本の課題の探求	1月7日
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

- ・ 前・後期の単位認定試験において、知識・技能の評価を50点、思考・判断・表現の評価を50点とする。
- ・ 主体的に取り組む態度として、スクーリングの出席・授業態度から25点分、レポートの提出・内容等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	世界史探究	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

社会的事象について歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2.教科書名

世界史探究（東京書籍）

3.副教材名

要点マスター世界史探究 整理と演習（東京書籍）

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 古代文明の出現	4月下旬
5月	第2章 西アジアと地中海周辺	5月上旬
	第3章 南アジア	5月下旬
	第4章 東南アジア	
6月	第5章 東アジアと中央ユーラシア	6月下旬
	第6章 アフリカ、オセアニア、古アフリカ	
	第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	
	第8章 中世ヨーロッパ	
7月	第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	7月下旬
	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	8月上旬
8月	第11章 大交易時代と世界の一本化	8月下旬
	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄	
9月	第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	9月上旬
	第14章 国民国家と近代社会の形成	
	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	
10月	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の侵攻	10月上旬
	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	
	第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	
11月	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	11月上旬
	第20章 冷戦の世界化と国際制度	12月上旬
12月	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	12月下旬
	第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	
1～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	世界史演習	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。また大学受験も充分意識しながら知識の活用、応用ができるようにする。

2.教科書名

世界史探究（東京書籍）

3.副教材名

要点マスター世界史探究 整理と演習（東京書籍）

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 古代文明の出現	4月下旬
	第2章 西アジアと地中海周辺	
5月	第3章 南アジア	5月下旬
	第4章 東南アジア	
6月	第5章 東アジアと中央ユーラシア	6月下旬
	第6章 アフリカ、オセアニア、古アフリカ	
	第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	
	第8章 中世ヨーロッパ	
7月	第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	7月下旬
	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	
8月	第11章 大交易時代と世界の一本化	
	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄	8月下旬
9月	第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	
	第14章 国民国家と近代社会の形成	
	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	9月下旬
10月	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の侵攻	
	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	
	第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	10月下旬
11月	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	
	第20章 冷戦の世界化と国際制度	
12月	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	11月上旬
	第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	
1～3月	調整予備期間	12月下旬

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	日本史演習	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる公民としての自覚と資質の育成を目指す。演習問題を中心に行い、大学進学の実力養成を目指す。

2. 教科書名

「日本史探究」（東京書籍）

3. 副教材名

「要点マスター日本史探究 整理と演習」（東京書籍）

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1編 先史古代の日本と東アジア	
5月	第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開	4月30日 5月31日
6月	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開	6月30日
7月	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成	7月31日
8月	第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開	8月29日
9月	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望	9月30日
10月	第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 2節 国民国家と資本主義の成立	10月31日
11月	3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本 5節 占領と政策 6節 国際社会への復帰と高度経済成長	11月14日
12月	7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題	12月22日
1月	第4章 現代日本の課題の探求	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

- ・ 前・後期の各単位認定試験において、知識・技能の評価を50点、思考・判断・表現の評価を50点とする。
- ・ 主体的に取り組む態度として、スクーリングの出席・授業態度から25点分、レポートの提出・内容等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
地理歴史	地理演習	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

2.教科書名

3.副教材名

『地理探究』 東京書籍
『新詳高等地図』 帝国書院

『要点マスター 地理探究』 東京書籍

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第2編 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域	4月30日 5月15日 5月30日
5月	1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア	
6月	4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ	6月15日 6月30日
7月	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ	7月15日 7月30日
8月	9節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア	8月15日 8月30日
9月	調整予備期間	
10月	調整予備期間	
11月	調整予備期間	
12月	調整予備期間	
1月	調整予備期間	
2～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
公民	公共	2	必修	6	2

1. 学習のねらい

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

2. 教科書名

公共（東京書籍）

3. 副教材名

公共ワークノート（東京書籍）

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1部 第1章 公共的な空間をつくる私たち ー社会のなかの自己	5月24日
5月	第1部 第2章 公共的な空間における人間としての在り方 生き方ー共に生きるための倫理	
6月	第1部 第3章 公共的な空間における基本的原理 ー私たちの民主的な社会	6月28日
7月	第2部 第1章 民主政治と私たち	8月30日
8月		
9月	第2部 第2章 法の働きと私たち	10月25日
10月	第2部 第3章 経済社会で生きる私たち	
11月	第2部 第4章 私たちの職業生活	11月29日
12月	第2部 第5章 国際社会の中で生きる私たち テーマ1, テーマ2	1月24日
1月	第2部 第5章 国際社会の中で生きる私たち テーマ3, テーマ4	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
公民	倫理	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

- ・人間の在り方生き方を主体(自己)との関わりから考えることができる。
- ・自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見だし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究できる。
- ・人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。
- ・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。
- ・「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について人格形成に寄与する知識として身につけている。
- ・現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見だし、探究できる。

2. 教科書名

高等学校 新倫理 (清水書院)

3. 副教材名

高等学校 新倫理 ワークノート (清水書院)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	【第1篇】現代にいきる自己の課題 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己形成	4月30日
5月	【第2編】人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術	6月30日
6月	【第3篇】現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題近代の成立	
7月	第2章 世界と人間をめぐる探求 第1節 人間の尊厳 第2節 自然や科学技術と人間とのかかわり 第3節 民主社会における人間のあり方 第4節 自己実現と幸福 第5節 個人と社会のかかわり 第6節 現代における理性の問題	9月13日
8月	【第4編】国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と精神文化 第1節 日本の風土と伝統 第2節 仏教の伝来と隆盛	
9月	第3節 儒教の日本化 第4節 日本文化と国学	10月21日
10月	第5節 近世庶民の思想 第6節 西洋近代思想の受容	
11月	【第5編】現代の諸課題と倫理 第1章 生命と倫理 第2章 環境と倫理 第3章 現代の家族	11月25日
12月	第4章 地域社会の変容とその課題 第5章 情報社会とその課題 第6章 グローバル化の時代と倫理 第7章 人類の福祉と国際平和	12月23日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。
	※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
公民	政治経済	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことゝの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。(思考・判断・表現)

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。(主体的に学習に取り組む態度)

2. 教科書名

詳述政治・経済(実教出版)

3. 副教材名

詳述 政治・経済 演習ノート(実教出版)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1篇 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則	4月30日
5月	第2章 日本国憲法の基本的性格	6月30日
6月	第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治	
7月	第2篇 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容	9月13日
8月	第2章 現代経済のしくみ 第3章 現代経済と福祉の向上	
9月	第3篇 現代日本における諸課題の探求 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題	10月21日
10月	第1章 現代の国際政治	
11月	第2章 現代の国際経済	11月25日
12月	第3章 国際社会の諸課題の探求	12月23日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。
※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。	

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
公民	公民演習	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

広い視野に立って、現代の社会について考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚をそだて、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を育成する。

2. 教科書名

高等学校 新倫理(清水書院)
詳述 政治・経済(実教出版)

3. 副教材名

高等学校 新倫理 ワークノート(清水書院)
詳述 政治・経済 演習ノート(実教出版)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	<倫理>第1篇現代に生きる自己の課題 <政経>現代における政治の諸課題 第1篇・第1章民主政治の基本原則	2025/4/30
5月	<倫理>第2篇現代に生きる自己の課題 <政経>第2章日本国憲法の基本的性格	5月30日
6月	<倫理>第3篇現代社会と倫理 <政経>第3・4章日本の政治機構と政治 第1章現代の倫理的課題	6月27日
7月	<倫理>第2章世界と人間をめぐる探求 <政経>第2編現代日本の経済、第1章	7月30日
8月	<倫理>第4篇国際社会に生きる日本人の自覚 <政経>第2・3章現代経済の仕組と福祉 の向上 第1節日本の風土と伝統 第2節仏教の伝来と隆盛	8月29日
9月	<倫理>第3節 儒教の日本化 <政経>第3篇現代日本における諸課題の探求 第4節 日本文化と国学 第2部グローバル化する国際社会の諸課題	9月26日
10月	<倫理>第5節近世庶民の思想 <政経>第1章現代の国際政治 第6節西洋近代思想の受容	10月30日
11月	<倫理>第5篇現代の諸課題と倫理 第1・2・3章生命と倫理、環境と倫理、 現代の家族 <政経>第2章現代の国際政治	11月28日
12月	<倫理>第4章地域社会の変容とその課題 第5章情報社会とその課題 第6章グローバル化の時代と倫理 第7章人類の福祉と国際平和 <政経>第3章国際社会の諸課題の探求	12月24日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。
※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。	

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学Ⅰ	3	必修	9	3

1. 学習のねらい

- (1)方程式と不等式，2次関数，図形と計量についての理解を深める。
 (2)基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
 (3)事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし，それらを活用する態度を育てる。

2.教科書名

数学Ⅰ Standard

3.副教材名

Standard Buddy WRITE 数学Ⅰ

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 1節 式の計算	5月15日
5月	2節 実数	6月6日
6月	3節 1次不等式	7月11日
7月	第2章 1節 集合 / 2節 命題と論証	8月1日
8月	第3章 1節 2次関数とそのグラフ	8月29日
9月		
10月	2節 2次方程式と2次不等式	10月31日
11月	第4章 1節 鋭角の三角比 / 2節 三角比の拡張	11月28日
12月	3節 三角形への応用	12月26日
1月	第5章 1節 データの分析	1月16日
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし，副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み，復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～8月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(9月～1月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学Ⅱ	4	選択	12	4

1. 学習のねらい

- (1) 整式の計算や高次方程式，三角関数，指数対数関数等いろいろな関数および微分・積分の考え方についての理解を深める。
- (2) 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- (3) 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

2. 教科書名

数学Ⅱ Standard

3. 副教材名

Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算	5月5日
5月	2節 2次方程式	5月30日
6月	3節 高次方程式 4節 式と証明	6月25日
7月	第2章 図形と方程式 1節 点と直線	7月14日
	2節 円	7月31日
8月	3節 軌跡と領域	8月31日
9月	第3章 三角関数 1節 三角関数	9月30日
10月	2節 加法定理	10月30日
11月	第4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数	11月30日
12月	2節 対数関数	12月15日
	第5章 微分と積分 1節 微分の考え	12月30日
1月	2節 積分の考え	1月31日
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし，副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む，復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学Ⅲ	3	選択	9	3

1. 学習のねらい

2 年次までに学んだ数列や関数の復習をしながら、それぞれの値の変化に着目し、グラフの特徴や極限について考察する。また、極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を学び、それらの計算方法を習得する。

2. 教科書名

数学Ⅲ Standard

3. 副教材名

Standard Buddy WRITE 数学Ⅲ

4. 年間学習計画

月	学習内容		提出期限
4月	第1章 関数と極限	1節 関数	4月30日
5月		2節 数列の極限	5月31日
6月		3節 関数の極限	6月30日
7月	第2章 微分	1節 微分法	7月31日
8月		2節 いろいろな関数の導関数	8月31日
9月	第3章 微分の応用	1節 関数の増減	9月30日
10月		2節 微分のいろいろな応用	10月31日
11月	第4章 積分とその応用	1節 不定積分	11月20日
12月		2節 定積分 3節 面積、体積、長さ	12月15日
1月			
2~3月	調整予備期間		

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学A	2	必修	6	2

1. 学習のねらい

- (1)個数の処理・確率，図形と論理についての理解を深める。
- (2)基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- (3)事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，数学的な考え方やものの見方ができるようにする。

2.教科書名

数学A Standard

3.副教材名

Standard Buddy WRITE 数学A

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 1節 集合と場合の数	
5月		5月31日
6月		6月30日
7月	2節 確率とその基本性質	
8月		8月29日
9月		
10月	3節 いろいろな確率	10月30日
11月	第2章 1節 三角形と比	11月30日
12月	2節 円の性質	
1月	3節 空間の図形	1月15日
2~3月	第3章 & 調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし，副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む，復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学B	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

- (1)数列，統計的な推測についての理解を深める。
 (2)基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
 (3)事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし，それらを活用する態度を育てる。

2.教科書名

数学B Standard

3.副教材名

Standard Buddy WRITE 数学B

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月	第1章 1節 数列	5月16日
6月	2節 いろいろな数列	6月27日
7月		
8月	3節 漸化式と数学的帰納法	8月15日
9月		
10月	第2章 1節 標本調査 2節 確率分布（～確率変数の和の分散）	10月3日
11月	2節 確率分布（二項分布～） 3節 正規分布	11月14日
12月	4節 統計的な推測	12月26日
1月		
2～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし，副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む，復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学C	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

- (1)ベクトルの学習では、ベクトルの加法・減法・実数倍、内積の計算を習得し、平面図形や空間図形の考察にベクトルを活用できるようにする。
- (2)平面上の曲線の学習では、二次曲線の焦点や漸近線などを求めることができるようにする。
- (3)複素数平面の学習では、複素数を極形式で表す方法を習得し、複素数の累乗をド・モアブルの定理を用いて計算する技能を身に付ける。

2. 教科書名

数学C Standard

3. 副教材名

Standard Buddy WRITE 数学C

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月	第1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル	5月15日
6月	2節 ベクトルの応用	6月30日
7月		
8月	3節 空間におけるベクトル	8月15日
9月	第2章 平面上の曲線	9月30日
10月	第3章 複素数平面 1節 複素数平面	10月31日
11月		
12月	2節 図形への応用	12月15日
1月		
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学演習基礎	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

- (1)ベクトルの計算を習得し、ベクトルの垂直条件や平行条件について理解し、その計算方法を習得する。また、平面上や空間内の図形の性質をベクトルを使って考察する。
- (2)具体的な問題演習を通して知識の理解を深め、IAIIBの復習をする。

2.教科書名

数学Ⅰ Essence, 数学A Essence
 数学Ⅱ Standard, 数学B Standard

3.副教材名

ニューパワーオン 数学Ⅰ+A+Ⅱ+B+ベクトル

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月 5月	【数学Ⅰの復習】問題5, 10, 13, 14, 25, 26, 28, 31	5月15日
6月	【数学Aの復習】問題37, 38, 40, 41, 43, 44, 59, 60	6月30日
7月 8月	【ベクトル】問題149, 150, 151	8月15日
9月	【数学Ⅱの復習(1)】問題73, 74, 83, 85, 86, 94, 97, 98	9月30日
10月	【数学Ⅱの復習(2)】問題102, 103, 105, 106, 111, 112, 115, 117, 126	10月31日
11月 12月	【数学Bの復習】問題128, 129, 131, 134, 137, 142, 143	12月15日
1月	調整予備期間	
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～8月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(9月～1月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
数学	数学演習応用	2	選択	6	2

1. 学習のねらい

- (1)ベクトルの計算を習得し、ベクトルの垂直条件や平行条件について理解し、その計算方法を習得する。
- (2)具体的な問題演習を通して知識の理解を深め、IAIIBの復習をする。

2.教科書名

数学Ⅰ Essence, 数学A Essence
 数学Ⅱ Standard, 数学B Standard

3.副教材名

ニューパワーオン 数学Ⅰ+A+Ⅱ+B+ベクトル

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月 5月	【数学Ⅰの復習】問題5, 10, 13, 14, 25, 26, 28, 31	5月15日
6月	【数学Aの復習】問題37, 38, 40, 41, 43, 44, 59, 60	6月30日
7月 8月	【ベクトル】問題149, 150, 151	8月15日
9月	【数学Ⅱの復習(1)】問題73, 74, 83, 85, 86, 94, 97, 98	9月30日
10月	【数学Ⅱの復習(2)】問題102, 103, 105, 106, 111, 112, 115, 117, 126	10月31日
11月 12月	【数学Bの復習】問題128, 129, 131, 134, 137, 142, 143	12月15日
1月	調整予備期間	
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	科学と人間生活	2	必修	6	8

1. 学習のねらい

自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深める。
 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2. 教科書名

3. 副教材名

科学と人間生活 東京書籍(2・東書・科人701)

新課程 ニューサポート 科学と人間生活 東京書籍

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	1 科学技術の発展 2 さまざまな微生物	5/7(水)
5月	3 私たちの暮らしへの微生物の利用	
6月	4 ヒトの視覚と光による影響	6/25(水)
7月	5 血液濃度を調節するしくみ 6 体を守る免疫のしくみ	
8月	7 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき 8 リサイクルとは何か/金属の性質とその再利用(1)	8/20(水)
9月	9 金属の性質とその再利用(2) 10 プラスチックの性質とその再利用	
10月	11 衣料の科学 12 食品の科学	10/22(水)
11月	13 光の進み方とその基本的な性質 14 目に見える光と色の見え方 15 目に見えない光とその利用	
12月	16 熱とは何か 17 エネルギーの利用と私たちの暮らし	12/10(水)
1月	18 太陽と月がもたらすリズム 19 太陽が動かす大気と水 20 自然災害と防災	1/21(水)
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて、それぞれ50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて、それぞれ50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定試験出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定試験出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	物理基礎	2	選必	6	8

1. 学習のねらい

物体の運動と様々なエネルギーについて理解し、科学的に探究する態度を養う。

日常生活と社会の関連を図りながら、科学的に考察する態度を養う。

2. 教科書名

新編物理基礎 東京書籍(2・東書・物基702)

3. 副教材名

新課程 ニューサポート 新編 物理基礎 東京書籍

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	1編 物体の運動とエネルギー 1章) 1 運動の表し方/2 合成速度と相対速度/3 速度が変わる運動 【3単元】	5月26日(月)
5月	1章) ベルアップドリル 等加速度直線運動/4 落下運動と鉛直・水平投射 【2単元】 2章) 5 力とそのつりあい 【1単元】	
6月	2章) 6 力の合成と分解/ベルアップドリル 力の合成と分解/7 運動の法則 /ベルアップドリル 力の見つけ方/8 運動方程式の応用 /9 摩擦力・抵抗力と浮力 【6単元】	6月30日(月)
7月	3章) 10 仕事と仕事率/11 運動エネルギー/12 位置エネルギー /13 力学的エネルギーの保存 【4単元】	8月4日(月)
8月	3章) ベルアップドリル 力学的エネルギー保存の法則 【1単元】	
9月	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章) 1 温度と熱、物質の状態/2 熱の移動と保存/3 熱と仕事 【3単元】 2章) 4 波の表し方/5 波の重ね合わせ/6 定在波 【3単元】	10月6日(月)
10月	2章) 7 波の反射 【1単元】	
11月	2章) ベルアップドリル 波の作図/8 音波/9 弦の固有振動/10 気柱の固有振動 【4単元】	11月25日(火)
12月	3章) 13 電力と電力量/14 電流がつくる磁場/15 発電機のしくみ /16 直流と交流、電磁波 【4単元】	1月13日(火)
1月	4章) 17 エネルギーの変換と保存、原子核のエネルギー /18 放射線の利用と安全性、エネルギーの利用と課題 【2単元】	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	物理	4	選択	12	16

1. 学習のねらい

物理学の基本的な概念や原理を理解し、物理現象を自身の言葉で説明できるだけでなく数式を用いて表現する能力を養う。
科学的な視点から物理現象を考察し、検証する態度を養う。

2.教科書名

物理 東京書籍(2・東書・物理・701)

3.副教材名

新課程 ニューアチーブ物理 東京書籍

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	1編 さまざまな運動 1.平面内の運動 ～ 7.運動量の保存 【7単元】	4/28(月)
5月	8.物体の衝突 ～ 14.単振り子と単振動のエネルギー 【7単元】	5/19(月)
6月	15.惑星の運動と万有引力 ～ 21.等温変化・断熱変化 【7単元】	6/9(月)
	22.定積変化・定圧変化 ～ 23.気体のモル熱容量・熱機関 【2単元】 2編 波 25.正弦波の式 ～ 29.ドップラー効果 【5単元】	6/30(月)
7月	30.さまざまなドップラー効果 ～ 36.鏡 【7単元】	7/22(火)
8月	3編 電気と磁気 37.静電気 ～ 43.コンデンサーへの挿入 【7単元】	8/12(火)
9月	44.電流 ～ 49.非直線抵抗を含む回路 【6単元】 ※基礎学力到達度テスト：9月25日(木)	9/1(月)
10月	50.磁力と磁場・電流がつくる磁場～53.電磁誘導 【4単元】	10/14(火)
	54.磁場中を運動する導体 ～ 57.交流回路(コイル・コンデンサー) 【4単元】	10/27(月)
11月	58.交流回路(インピーダンス) ～ 59.共振・電気振動 【2単元】 4編 原子 60.電子 ～ 61.光の粒子性 【2単元】	11/10(月)
	62.X線 ～ 65.水素原子のボーア模型 【4単元】	11/25(火)
	66.原子核 ～ 69.核分裂と核融合・素粒子 【4単元】	12/8(月)
1～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組み、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	化学基礎	2	選必	6	8

1. 学習のねらい

日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化について理解する。
物質とその変化に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 教科書名

3. 副教材名

新編 化学基礎 東京書籍(2・東書・化基・702)

ニューサポート 新編化学基礎 東京書籍

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	1物質の成分 / 2物質の構成元素	5/8(木)
5月	3 物質の三態 / 4 原子の構造 / 5 電子配置と周期表	6/26(木)
6月	6 イオン / 7 イオン結合と組成式	
7月	8 分子と共有結合 / 9 分子の形, 配位結合 / 10 電気陰性度と極性	8/21(木)
8月	11 分子結晶・共有結合の結晶 / 12 金属と金属結合	
9月	13 化学結合と物質の分類 / 14 原子量・分子量・式量 / 15 物質質量	10/23(木)
10月	16 溶液の濃度 / 17 化学反応式 / 18 化学反応式とその量的関係	
11月	19 酸と塩基 / 20 水素イオン濃度とpH / 21 中和反応と塩	12/4(木)
12月	22 中和滴定 / 23 酸化と還元 / 24 酸化剤と還元剤	
1月	25 金属の酸化還元反応 / 26 酸化還元反応(電池と電気分解)	1/22(木)
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて, それぞれ50点分とし, 平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて, それぞれ50点分とし, 平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし, 副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む, 復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定試験出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定試験出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	化学	4	選択	12	16

1. 学習のねらい

化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究する技能を身に付けるようにする。
化学的な事物・現象に主体的に関わり, 化学的に探究しようとする態度を養う。

2. 教科書名

化学 Vol.1 理論編(2・東書・化学・701)
化学 Vol.2 物質編(2・東書・化学・702)

3. 副教材名

新課程 ニューアチーブ化学 東京書籍

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	【物質の状態】1物質の三態と状態変化 2(1)気体 / (2)気体の状態方程式	5/7(水)
5月	3(1)溶解 / (2)稀薄溶液の性質 / (3)コロイド /	5/28(水)
6月	4結晶の構造	6/11(水)
7月	【化学反応とエネルギー】1(1)反応とエンタルピー変化 / (2)ヘスの法則 2(1)電池 / (2)電気分解	6/25(水)
8月	【化学反応の速さと平衡】 1 反応の速さ 2 化学平衡と平衡移動	7/13(水)
	3 電離平衡 【無機物質】1 周期表と元素	8/6(水)
9月	2(1)水素と貴ガス / (2)酸素とその化合物 (3)ハロゲン, 硫黄, 窒素・リンとその化合物	9/10(水)
10月	(4)炭素・ケイ素とその化合物 / 3(1)アルカリ金属とその化合物 (2)アルカリ土類金属とその化合物 / (3)1, 2族以外の典型元素とその化合物	10/8(水)
11月	4 遷移元素とその化合物 / 5(1)金属イオンが検出できる反応 / (2)金属イオンの系統分離と確認 【有機化合物】1(1)有機化合物の特徴	11/5(水)
12月	2(1)飽和炭化水素 / (2)不飽和炭化水素 / 3(1)アルコールとエーテル (2)アルデヒドとケトン / (3)カルボン酸	11/26(水)
	(4)エステル・油脂 4(1)芳香族炭化水素(2)フェノール類と芳香族カルボン酸 / (3)芳香族アミン	12/24(水)
1月	【高分子化合物】	1/14(水)
2～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて, それぞれ50点分とし, 平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて, それぞれ50点分とし, 平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし, 副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む, 復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定試験出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定試験出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	生物基礎	2	選必	6	8

1. 学習のねらい

日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

生物や生物現象に主体的に関わり、科学的な探究と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2.教科書名

新編生物基礎 東京書籍(2・東書・生基702)

3.副教材名

新課程 ニューサポート 新編 生物基礎 東京書籍

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	1編1章 生物の多様性と共通性 (P.8～23)	5/15(木)
5月	1編2章 生体とエネルギー (P.24～39) 1. 生体とATP 2. 酵素のはたらき / 3. 呼吸と光合成	
6月	2編1章 遺伝情報とDNA (P.42～57) 1. 生物と遺伝子 / 2. DNAの構造 / 3. DNAの複製と分配	6/16(月)
7月	2編2章 遺伝情報とタンパク質の合成 (P.58～71) 1. タンパク質 2. タンパク質と遺伝情報 / 3. 細胞の分化と遺伝子	7/17(木)
8月		
9月	3編1章 ヒトの体を調節するしくみ (P.76～99) 1. 体内環境 / 2. 神経系による情報伝達	9/25(木)
10月	3. 内分泌による情報伝達 / 4. 血糖濃度の調節 3編2章 免疫のはたらき (P.100～117) 1. 免疫のしくみ	11/6(木)
11月	2. 免疫の応用 / 3. 免疫とさまざまな疾患	
12月	4編1章 植生と遷移 (P.122～143) 1. 身のまわりの植生 / 2. 植生の遷移 / 3. 遷移とバイオーム	12/25(木)
12月	4編2章 生態系における生物の多様性 (P.144～165) 1. 生態系における生物の多様性 / 2. 生態系における生物間の関係 3. 生態系と人為的攪乱 / 4. 生態系の保全	
1～3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の類似問題が出題されます。
- ・ 単位認定テスト出題範囲 前期(第1回～第3回の学習範囲)、後期(第4回～第6回の学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
理科	生物	4	選択	12	16

1. 学習のねらい

- ・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2.教科書名

生物 東京書籍(2・東書・生物・701)

3.副教材名

新課程 ニューアチーブ 生物 東京書籍

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	教) 1-1 生命の起源と細胞の進化 ・ 1-2 遺伝子の変化と進化のしくみ ニューアチーブ 1編 生物の進化 1 ～ 7	4/30(水)
5月	教) 1-2 遺伝子の変化と進化のしくみ ・ 1-3 生物の系統と進化 ニューアチーブ 1編 生物の進化 8 ～ 13	5/14(水)
	教) 2-1 細胞と物質 ニューアチーブ 2編 生命現象と物質 14 ～ 22	5/28(水)
6月	教) 2-2 代謝とエネルギー ニューアチーブ 2編 生命現象と物質 23 ～ 30	6/11(水)
	教) 3-1 遺伝情報とその発現 ニューアチーブ 3編 遺伝情報の発現と発生 31 ～ 39	6/25(水)
7月	教) 3-2 発生と遺伝子発現 ・ 3-3 遺伝子を扱う技術 ニューアチーブ 3編 遺伝情報の発現と発生 40 ～ 42, 52 ～ 56	7/9(水)
8月	教) 3-2 発生と遺伝子発現 ニューアチーブ 3編 遺伝情報の発現と発生 43 ～ 51	8/13(水)
10月	教) 4-1 動物の刺激の受容と反応 ニューアチーブ 4編 生物の環境応答 57 ～ 67	10/15(水)
	教) 4-2 動物の行動 教) 4-3 植物の環境応答 ニューアチーブ 4編 生物の環境応答 68 ～ 72	10/29(水)
11月	教) 4-3 植物の環境応答 ニューアチーブ 4編 生物の環境応答 73 ～ 77	11/12(水)
	教) 5-1 個体群と生物群集 ニューアチーブ 5編 生態と環境 78 ～ 83	11/26(水)
12月	教) 5-2 生態系の物質生産と物質循環 ・ 5-3 生態系と人間生活 ニューアチーブ 5編 生態と環境 84 ～ 87	12/10(水)
	調整期間	1 ～ 3月

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

6.単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題されます。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・出題範囲： 前期単位認定試験(4月～7月までの学習範囲) 後期単位認定試験(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
芸術	美術 I	2	選択必修	6	8

1. 学習のねらい

基礎的な表現方法を身につけ、材料、用具の特性を理解して、向上心と主体性をもって創造活動に取り組む能力を養う。美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。

2. 教科書名

「高校生の美術1」 日本文教出版

3. 副教材名

なし

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	① グラデーション・球体のデッサン	
5月	① グラデーション・球体のデッサン	5月20日
6月	② 片手とモチーフのデッサン	6月20日
7月	③ 色彩について	7月20日
8月		
9月	④ ポッドキャストの聴取と感想文	10月10日
10月	⑤ コラージュ	11月10日
11月	⑥ インスタレーション	12月10日
12月		
1月		
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	レポート・スクーリング課題を50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	レポート・スクーリング課題を50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの提出状況等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・試験はありません。各レポート課題とスクーリングが必須です。
- ・前期単位範囲(4月～8月までの①～③課題と前期スクーリング)
- ・後期単位範囲(9月～12月までの④～⑥課題と後期スクーリング)
- ・早めの提出を心がけて、丁寧に制作して下さい。

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
芸術	書道Ⅰ	2	選択必修	6	8

1. 学習のねらい

書のさまざまな活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、書の表現の多様性を学び、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に幅広く関わる資質・能力を養う。

2. 教科書名

東京書籍 書道Ⅰ

3. 副教材名

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	書の表現、漢字仮名交じりの書について	5月23日
5月		
6月	漢字の書体について	6月20日
7月	漢字の書（楷書）	7月21日
8月		
9月	漢字の書（行書）	9月26日
10月	仮名の歴史、仮名の書（いろは歌）	10月31日
11月	仮名の書（連綿）、生活の中の書について	12月22日
12月		
1~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	レポート、前・後期スクーリングの課題から50点分を評価する。
思考・判断・表現	レポート、前・後期スクーリングの各課題から50点分を評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・単位認定試験は行わず、レポート、スクーリングの課題から評価する。
- ・課題の指定事項を守り、すべての課題を提出すること。
- ・提出期限を守ること。

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	英語 コミュニケーションⅠ	3	必修	9	12

1. 学習のねらい

日常的・社会的な話題を通し、英語の基礎的な知識（単語・文法・発音）を身につける。
必要な情報を読んだり聞いたりして、相手の意図や話題の概要を理解できる力を身につける。

2.教科書名

LANDMARK Fit English Communication Ⅰ
(啓林館)

3.副教材名（提出レポート）

LANDMARK Fit English Communication Ⅰ
WORKBOOK（啓林館）

4.年間学習計画

月	学習内容		提出期限
	回	教材（教科書）・レポート内容（WORKBOOK）	
4月	Preparatory Lesson		5月30日
5月	第1回レポート	Lesson1 Enjoy Your Journey!	
6月	第2回レポート	Lesson2 Curry Travels around the World	6月30日
7月 前期スクーリング	第3回レポート	Lesson3 School Uniforms	7月30日
8月	第4回レポート	Lesson4 Eco-Tour on Yakushima	8月30日
9月	第5回レポート	Lesson5 Bailey the Facility	9月30日
10月	第6回レポート	Lesson6 Communication without Words	10月30日
11月	第7回レポート	Lesson7 Dear World: Bana's War	11月30日
12月 後期スクーリング	第8回レポート	Lesson8 The Best Education to Everyone, Everywhere	12月30日
1月	第9回レポート	Optional Lesson1 Space Elevator	1月30日
2～3月	調整予備期間		

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月～8月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(9月～1月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	英語 コミュニケーションII	4	選択	12	16

1. 学習のねらい

日常的・社会的な話題を通し、多様な語句や文の構成方法を身につける。

必要な情報を読んだり聞いたりして、相手の意図や話題の概要を理解・表現できる力を身につける。

2.教科書名

Power ON English Communication II
(東京書籍)

3.副教材名

Power ON English Communication II WORKBOOK

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	Lesson.1 Play Me, I'm Yours	4月30日
5月	Lesson.2 Ethical Fashion	5月30日
6月	Lesson.3 One for All, All for One	6月30日
7月	Lesson.4 Vending Machine	7月30日
8月	①Lesson.5 Design for Connecting Society : Braille Neue Part. 1~2	①8月20日
	②Lesson.5 Design for Connecting Society : Braille Neue Part. 3~4	②8月31日
9月	Lesson.6 New Banknotes	9月30日
10月	Lesson.7 Some Secrets about Colors	10月30日
11月	Lesson.8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	11月30日
12月	Lesson.9 Flying after Her Dreams	12月30日
1月	①Lesson. 10 To Work or Not to Work? Humans and Robots Part.1~2	①1月20日
	②Lesson. 10 To Work or Not to Work? Humans and Robots Part.3~4	②1月31日
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	英コミⅢ	4	選択	12	16

1. 学習のねらい

日常的・社会的な話題を通し、多様な語句や文の構成方法を身につける。

必要な情報を読んだり聞いたりして、相手の意図や話題の概要を理解・表現できる力を身につける。

2. 教科書名

3. 副教材名(提出レポート)

Power ON English Communication III (東京書籍) Power ON English Communication III WORKBOOK

4. 年間学習計画

月	学習内容		提出期限
	回	教材(教科書)・レポート内容(WORKBOOK)	
4~5月	第1回レポート	Lesson1 Library of the Future	5月5日
	第2回レポート	Lesson2 History Maker Otani Shohei	5月20日
6月	第3回レポート	Lesson3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	6月10日
	第4回レポート	Lesson4 Nature Photographer in Alaska	6月30日
7月 前期スクーリング	第5回レポート	Lesson5 A Science Award That makes You Laugh, and Then Think	7月30日
8月	第6回レポート	Lesson6 Where Does Halloween Come from?	8月20日
9月	第7回レポート	Lesson7 Will 3D Printing Technology Change the World? p.54~p.57, 62, 64	9月10日
10月	第8回レポート	Lesson7 Will 3D Printing Technology Change the World? p.58~p.61, 63, 65	10月5日
	第9回レポート	Lesson8 A Conductor of the Underground Railroad	10月30日
11月	第10回レポート	Lesson9 English, Always Growing p78~p81, p86, p88	11月15日
	第11回レポート	Lesson9 English, Always Growing p82~p85, p87, p89	11月30日
12月 後期スクーリング	第12回レポート	Lesson10 Understanding the Culture of Dogs	12月20日
1~3月	調整予備期間		

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	論理・表現Ⅰ	2	選択	6	8

1. 学習のねらい

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫する能力を養う。

2. 教科書名

Vision Quest English Logic and Expression I
Standard

3. 副教材名

Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard WORKBOOK
スタディサブテキスト高1・高2ベーシックレベル(希望者)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.	5月5日
5月	Lesson 2 Do you want to join our show?	5月30日
6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.	7月30日
7月	Lesson 4 Have you ever tried it before?	
8月	Lesson 5 What do you want to do after high school?	9月30日
9月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	
10月	Lesson 7 I'm happy to have you with us.	11月30日
11月	Lesson 8 What sport do you like playing?	
12月	Lesson 9 Digital media has come a long way.	1月30日
1月	Lesson 10 That's why I decided to go back.	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	論理・表現II	2	選択	6	8

1. 学習のねらい

日常的・社会的な話題において、多様な語句・文を用いて、工夫して発信できるようにする。
意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して表現できる力をつける。

2. 教科書名

Vision Quest English Logic and Expression II
Hope (啓林館)

3. 副教材名

Vision Quest 論理・表現II Hope WORKBOOK

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	Lesson.1 What is your future goal?	5月15日
5月	Lesson.2 What school events do you have?	6月30日
6月	Lesson.3 Who is the best athlete?	
7月	Lesson.4 Is social media safe?	8月30日
8月	Lesson.5 How does overusing energy affect us?	
9月	Lesson.6 What are some culture differences?	9月30日
10月	Lesson.7 Do all Japanese people need to speak English?	11月30日
11月	Lesson.8 Is Japan open enough?	
12月	Lesson.9 What if you were rich?	1月30日
1月	Lesson.10 How might AI affect our lives?	
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	論理・表現Ⅲ	2	選択	6	8

1. 学習のねらい

日常的・社会的な話題において、多様な語句・文を用いて、工夫して発信できるようにする。
意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して表現できる力をつける。

2. 教科書名

Vision Quest English Logic and Expression III Vision Quest 論理・表現Ⅲ サブノート
Hope (啓林館)

3. 副教材名**4. 年間学習計画**

月	学習内容	提出期限
4月	Lesson 1 Friendship and improvement	5月10日
5月	Lesson 3 Can you change your personality?	6月30日
6月	Lesson 5 Online doctor consultations	
7月	Lesson 7 What do you do after school? Lesson 9 Should we use social media?	7月30日
8月	Lesson 11 Lifetime employment or career changes?	8月30日
9月	Lesson 13 The rise of the cashless society	10月30日
10月	Lesson 15 What can we do to solve global warming?	
11月	Lesson 17 Innovations in machine translation	12月20日
12月	Lesson 19 Just knowing about SDGs is enough?	
1月		
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	英語演習基礎	2	選択	6	8

1. 学習のねらい

英文法・語法・イディオムについて学習し、多肢選択形式および語句整序形式での得点力を高める。

2. 教科書名

英文法[強化]演習 New Frame 650 New Edition
(桐原書店)

3. 副教材名

英文法[強化]演習 New Frame 650 Mastering Aid
(桐原書店)

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	STEP 01 時制	5月10日
5月	STEP 02 態	
6月	STEP 03 助動詞, STEP04 不定詞と動名詞	6月30日
7月	STEP 05 不定詞, STEP 06 動名詞	7月30日
8月	STEP 07 分詞, STEP 08 動詞の語法	8月30日
9月	STEP 10 仮定法	10月30日
10月	STEP 11 比較	
11月	STEP 13 形容詞と副詞の語法	12月15日
12月	STEP 16 関係詞	
1月		
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
外国語	英語演習応用	2	選択	6	8

1. 学習のねらい

英文法・語法・イディオムについて学習し、多肢選択形式および語句整序形式での得点力を高める。

2.教科書名

英文法[強化]演習New Frame 650 New Edition
(桐原書店)

3.副教材名

英文法[強化]演習 New Frame 650 Mastering Aid
(桐原書店)

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	STEP 01 時制	5月10日
5月	STEP 02 態	
6月	STEP 03 助動詞, STEP04 不定詞と動名詞	6月30日
7月	STEP 05 不定詞, STEP 06 動名詞	7月30日
8月	STEP 07 分詞, STEP 08 動詞の語法	8月30日
9月	STEP 10 仮定法	10月30日
10月	STEP 11 比較	
11月	STEP 13 形容詞と副詞の語法	12月15日
12月	STEP 16 関係詞	
1月		
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・前期単位認定テスト出題範囲(4月~7月までの学習範囲)
- ・後期単位認定テスト出題範囲(8月~12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
家庭	家庭総合	4	必修	8	8

1. 学習のねらい

家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のあり方、子供と高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費者生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。また、生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につける。

2. 教科書名

家庭総合 自立・共生・創造

3. 副教材名

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	5月31日
5月		
6月	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	6月30日
7月	スクーリング（第7章 衣生活・被服実習）	7月31日
8月	第6章 食生活をつくる	8月30日
9月	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	9月30日
10月	第5章 経済生活を営む 契約と購入、消費者の権利と責任	10月31日
11月	第2章 子どもと共に育つ	11月29日
12月	スクーリング（保育実習・調理実習）	12月23日
1～3月	調整予備期間	

5. 評価方法

知識・技能	前期：スクーリングの授業態度等を50点分とし評価する。 後期：単位認定テストにおいて50点分とし評価する。 ※前期・後期の点数を平均して評価する。
思考・判断・表現	前期：スクーリング課題の取組み等を50点分とし評価する。 後期：単位認定テストにおいて50点分とし評価する。 ※前期・後期の点数を平均して評価する。
主体的に取り組む態度	前期・後期：レポートの提出状況から25点分を評価する。レポートの内容から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6. 単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
情報	情報Ⅰ	2	必修	4	4

1. 学習のねらい

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2.教科書名

東京書籍 新編 情報Ⅰ

3.副教材名

日本文教出版
映像でわかる 情報Ⅰ 共通テスト対策問題集

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月	コンピュータとデジタルデータ 文字のデジタル表現 データの圧縮 音のデジタル化	5月31日
6月		
7月	画像のデジタル化 動画のデジタル化 情報デジタル化とデータ量 コンピュータのしくみ	7月31日
8月	【スクーリング】 プログラミング	
9月		
10月	情報通信ネットワーク・個人情報	10月31日
11月		
12月	情報セキュリティ・知的財産権	12月31日
1月	【スクーリング】 データの活用・モデル化とシミュレーション	
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

知識・技能	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
思考・判断・表現	前・後期の各単位認定テストにおいて50点分とし、平均して評価する。
主体的に取り組む態度	レポートの内容等から25点分を評価する。 スクーリングの授業態度等から25点分を評価する。

※ 上記150点分を100点に換算し、評価する。

6.単位認定試験

- ・ 出題は基本問題を中心とし、副教材や教科書の中から類似の問題が出題します。
- ・ 普段の学習に真剣に取り組む、復習を怠らなければ十分に対応できる問題です。
- ・ 前期単位認定テスト出題範囲(4月～7月までの学習範囲)
- ・ 後期単位認定テスト出題範囲(8月～12月までの学習範囲)

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
総合的な探究の時間(1学年)		1	必修	2	2

1. 学習のねらい

過去を振り返り、高校生活について探求する

2.教科書名

なし

3.副教材名

なし

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月		
6月	過去を振り返り自分について探求する	6月30日
7月	スクーリング・法教育	7月31日
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	今年を振り返り小中学校生活と高校生活で感じた違いについて探求する	12月31日
1月	スクーリング・法教育	1月31日
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

- ・ レポートの提出状況
- ・ スクーリングへの取り組み

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
総合的な探究の時間(2学年)		1	必修	2	2

1. 学習のねらい

現在の自分について探求する(1単位履修生)

2. 教科書名

なし

3. 副教材名

なし

4. 年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月		
6月	現在の自分について探求する	6月30日
7月		
8月	スクーリング・法教育	8月31日
9月		
10月		
11月		
12月	今年を振り返り今後の自分について探求する	12月31日
1月	スクーリング・法教育	1月31日
2~3月	調整予備期間	

5. 評価方法

- ・ レポートの提出状況
- ・ スクーリングへの取り組み

教科名	科目名	単位数	分類	添削(レポート)	面接(スクーリング)
総合的な探究の時間(3 学年)		1	必修	2	2

1. 学習のねらい

未来の自分について探求する

2.教科書名

なし

3.副教材名

なし

4.年間学習計画

月	学習内容	提出期限
4月		
5月		
6月	過去を振り返り未来の自分を探求する	6月30日
7月	スクーリング・法教育	7月31日
8月		
9月		
10月		
11月	高校卒業後の生活を探求する	11月30日
12月	スクーリング・法教育	12月31日
1月		
2~3月	調整予備期間	

5.評価方法

- ・ レポートの提出状況
- ・ スクーリングへの取り組み